

グラスルーツからの日米関係強化に関する
政府タスクフォース（各地各様のアプローチ）
第1回会合 議事要旨

1. 開催日時 : 平成29年4月26日（水）午後4時半～5時
2. 開催場所 : 官邸3階南会議室
3. 概要

（1）冒頭、萩生田光一内閣官房副長官より、本タスクフォース立ち上げの目的等について、以下の発言があった。

本タスクフォースは、米国の州・地方レベルにおける日米関係の重要性に関する認識を深め、ひいては連邦レベルにおける対日政策形成プロセスにも望ましい影響を与えていくことを目的としています。そのための、官民を挙げた州・地方レベルにおける取組の具体的方策について検討していただきたいと思えます。

これまで、JETROや国際交流基金等の関係機関も活用しながら米国の中央政府レベルや地方に対するアプローチも行ってきました。本年初めに、米国で新政権が発足したことも受け、日米関係をより重層的に強化するために、今回は、直接投資等を通じた雇用創出など底力のある地域レベルの取組に光を当て、経済・社会・文化と様々な面での日米関係強化のための取組を鳥瞰し、各地の特徴に最も適切なアプローチを進めていきたいと考えております。

（2）引き続き、関係省庁、JETRO、国際交流基金等から、我が国企業等の対米直接投資の米国経済への貢献を始めとする日米関係強化に関するこれまでの取組について報告が行われた。

（3）最後に、萩生田副長官より、地域レベルでこれまでも多くの取組が行われてきており、日米関係の深化に寄与してきたことを確認し、本タスクフォースをきっかけとして、関係各機関が一体となって連携を強化し、グラスルーツからの日米関係強化に向けた更に具体的な取組を実施することを期待する旨発言があった。